

2021年9月11日(土)

17:10 ~ 18:10

第3会場

国立京都国際会館 2F RoomB-1

緑内障治療は長い旅路

～高齢者が継続できる点眼治療を考える～



相原 一 先生
(東京大学)

座長のことば

人生100年時代に向けて、緑内障になっても何とか進行を軽減させて生涯視機能を維持したいものです。折角早期診断されても、末期まで自覚症状もなく、さらに治療は自己点眼、目に見えての改善効果は無く、むしろ点眼の面倒なことや副作用に困ってQOL、QOVが下がることさえ良くあります。我々は患者さんと向き合って、その生涯長い旅路と一緒に過ごす責任があります。本セミナーでは、日頃から眼だけではなく、その日常生活の背景因子も含め、非常に良く患者さんのことをみて頂いている二人のエキスパートの先生にご登壇頂き、長期にわたる点眼治療の現状とその対策についてお話しを頂き、高齢になっても治療が継続できるような方策について皆さんと考えます。是非ともご視聴ください。



講演 1

「点眼指導とアドヒアランス」

内藤 知子 先生
(グレース眼科クリニック)



講演 2

「高齢者のアドヒアランス」

溝上 志朗 先生
(愛媛大学)

緑内障治療は長い旅路

～高齢者が継続できる点眼治療を考える～

2021年9月11日(土)

17:10～18:10

第3会場

国立京都国際会館 2F RoomB-1



相原 一 先生 (東京大学)

座長

- 1989年 東京大学医学部医学科卒業眼科入局
- 1998年 東京大学大学院生化学細胞情報部門卒業 医学博士
- 1998年 東京大学医学部眼科 助手
- 2000年 カリフォルニア大学サンディエゴ校
ハミルトン緑内障センター 留学
- 2003年 東京大学医学部眼科 専任講師
- 2012年 東京大学医学部眼科 准教授
- 2012年 四谷しらと眼科 副院長
- 2014年 東京医科歯科大学医学部眼科 特任教授兼任
- 2015年 東京大学医学部眼科 教授



内藤 知子 先生 (グレース眼科クリニック)

演者 1

- 1997年 岡山大学医学部卒業
- 1998年 広島市民病院勤務
- 2004年 岡山大学大学院医学研究科修了
- 2004年 岡山大学病院眼科 助手
- 2015年 岡山大学病院眼科 病院講師
- 2016年 岡山大学病院眼科 講師
- 2019年 グレース眼科クリニック 院長
- 2020年 医療法人尽誠会グレース眼科クリニック 理事長



溝上 志朗 先生 (愛媛大学)

演者 2

- 1995年 愛媛大学医学部卒業
- 1996年 大阪厚生年金病院 眼科医員
- 2005年 愛媛大学医学部大学院修了
- 2005年 愛媛大学医学部 眼科助手
- 2009年 愛媛大学大学院医学系研究科 視機能外科学講師
- 2012年 愛媛大学大学院医学系研究科 視機能再生学講座准教授
- 2020年 愛媛大学大学院医学系研究科 眼科学講座准教授

